

学年	高校3年	教科	公民	科目	政治・経済演習	単位数	7
教科書名	詳述政治・経済（実教出版）			副教材名	2025 ズームアップ政治・経済資料 政治・経済用語集 20日完成 スピードマスター政治・経済問題集		
コース・クラス	進学コース N進学クラス 文系						

I. 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テスト6割をめざし、基礎的な実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究する。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉え、日本の立場、解決策を考える。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解し、物事を多面的に捉える力を身につける。
3. 進路目標に即した問題演習を行い、共通テスト・基礎学力到達度テストに対応できる学力を育む。

III. 授業の進め方

1. 入試問題演習を行う（共通テスト・私大）。基礎学後は、「国際経済」の授業を行う。
2. 解答解説を行い、複数の単元に拡張させる。
3. 時事問題を扱い（ミニ論述）、知識を言語化するトレーニングを行う。
4. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深める。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。

IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込む。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚える。
3. 単なる知識の習得に留まらず、説明できるレベルにまで到達する。

V. 定期試験

1学期 中間試験：国内政治

1学期 期末試験：国内経済・国際政治

2学期 期末試験：国際経済

※各定期試験には、上記内容以外にも政治経済各単元の入試問題が含まれます。

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学過去問にチャレンジ 政治経済全単元演習問題にチャレンジ (基礎学レベル・共通テストレベル・日東駒専レベルまで) 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎学本番を想定した問題への対応、テクニックなどを再確認する。問題を解きながら、倫理分野の復習も行う。 基礎学本番の問題以上に、レベルの高い問題に取り組むことで負荷を与えておく。
	5	1 日本国憲法と統治機構 <ul style="list-style-type: none"> 国会、内閣、裁判所の関係 違憲審査制、議院内閣制 	・中間試験	<ul style="list-style-type: none"> 1では、内閣支持率、違憲判決、緊急事態条項などの時事問題も理解する。
	6	2 選挙制度と政党政治 <ul style="list-style-type: none"> 小選挙区比例代表並立制、ねじれ国会 政党助成金 		<ul style="list-style-type: none"> 2では、投票率の問題、若年層の政治参加などの時事問題も理解する。
	7	3 地方自治と分権 <ul style="list-style-type: none"> 国と地方の役割 	・小テスト	<ul style="list-style-type: none"> 3では、地方創生、地方財政などの時事問題も理解する。
	7	4 市場メカニズムと価格 <ul style="list-style-type: none"> 価格弾力性 市場の失敗 		<ul style="list-style-type: none"> 4では、物価上昇、補助金政策などの時事問題も理解する。
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学過去問にチャレンジ 政治経済全単元演習問題にチャレンジ (基礎学レベル・共通テストレベル・日東駒専レベルまで) 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎学本番を想定した問題への対応、テクニックなどを再確認する。問題を解きながら、倫理分野の復習も行う。 基礎学本番の問題以上に、レベルの高い問題に取り組むことで負荷を与えておく。
	10	6 財政政策と国債 <ul style="list-style-type: none"> 財政赤字、社会保障費 		<ul style="list-style-type: none"> 6では、増減税、少子高齢化などの時事問題も理解する。
	11	7 国際政治と安全保障 <ul style="list-style-type: none"> 国連の仕組み 安全保障理事会、集団安全保障 		<ul style="list-style-type: none"> 7では、紛争問題、領土問題などの時事問題も理解する。
	12	8 社会保障制度 <ul style="list-style-type: none"> 年金 保険と公的扶 		<ul style="list-style-type: none"> 8では、制度改革、子育て支援、高齢化問題などの時事問題も理解する。
	12	9 環境問題と持続可能な社会 <ul style="list-style-type: none"> 条約 SDGs 		<ul style="list-style-type: none"> 9では、財政政策、企業の社会的責任 (CSR) などの時事問題も理解する。
	10	第2章 現代の国際経済 <ul style="list-style-type: none"> 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済体制の変容について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。世界史・日本史の学習と連動して理解する。
	11	<ul style="list-style-type: none"> 3. グローバル化と世界金融 4. 地域経済統合と新興国の台頭 	課題提出	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の貿易体制、為替相場の変動や冷戦の流れは、当時の首脳と共に把握する。地域経済統合も含めて、戦後史を合わせて理解する。
	12	<ul style="list-style-type: none"> 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題 	小テスト 期末試験	

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。